

## 『四万十川ニュース Vol.2』について

今回は、7月8日に貴重植物である「マイツルテンナンショウ」の自生地を中心とした、第14回自然観察会が開催されました。また、7月11日には「四万十つるの里づくりの会」と中村河川国道事務所の主催で、地元小、中学校の総合学習授業と連携して、ツルに関する授業、ツルのエサ場となるモミまきを行いました。

平成18年7月19日  
中村河川国道事務所

### 問い合わせ先

国土交通省 中村河川国道事務所

TEL (0880) 34 - 7301 [代表]

副 所 長	森本 精郎	(内線204)
事業対策官	生田 利浩	(内線208)
調査第一課長	片山 和夫	(内線351)



# 四万十川ニュース Vol.2

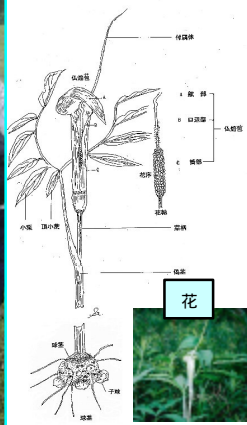
中村河川国道事務所 平成 18年 7月 19日

## ツルの里づくり 総合学習授業と連携

### 第14回自然観察会を開催



マイヅルテンナンショウ



沢良木庄一氏提供

「四万十つの里づくりの会」と国土交通省中村河川国道事務所の主催で地元小、中学校の総合学習授業と連携してツルに関する授業、ツルのエサ場となるモミまきを7月11日に行いました。

当日は心配していた天候にも恵まれ晴天の中で東中筋小学校、東中筋中学校、中筋小学校の生徒47名と関係者を含め約100名の方々が参加されました。

最初に東中筋中学校の多目的ホールで澤田佳長先生からツルに関する合同授業を行い、その後中筋川の中山地区で中村河川国道事務所が整備を進めているツルのネグラ、エサ場づくりの現地でモミまきを行いました。

以前は中筋川流域に多くのツル類が飛来、越冬していましたが様々な環境の変化により、近年には数が少なくなってきていますが、今回の取り組みで少しでも多くツルが飛来してくれることを祈っています。



ツルのお勉強

四万十川で実施している自然再生事業の一つである「アユの瀬づくり」事業による事前調査で四万十川河川敷きで環境省の評価では絶滅危惧種 類、高知県では絶滅種とされていた「マイヅルテンナンショウ」が全国でも最大規模の個体群と考えられるほど確認されました。

この貴重植物を市民レベルで守り育てて行こうと「マイヅルテンナンショウ」の自生地を中心とした第14回自然観察会が7月8日に開催されました。

当日は、あいにくの雨天にもかかわらず、高知市、南国市など遠方からの参加もあり、約70名の方々が貴重植物の観察を行いました。

観察後に貴重植物の保全策等について意見交換会を行い、「慎重に保全策を考えてほしい。」「植物だけでなく生物全体の視点からも保全策を検討してほしい。」などの意見が出されました。

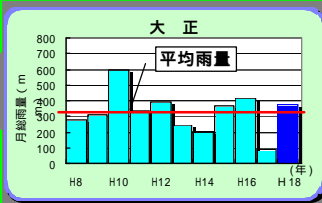
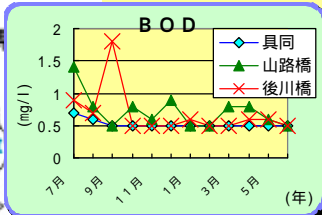
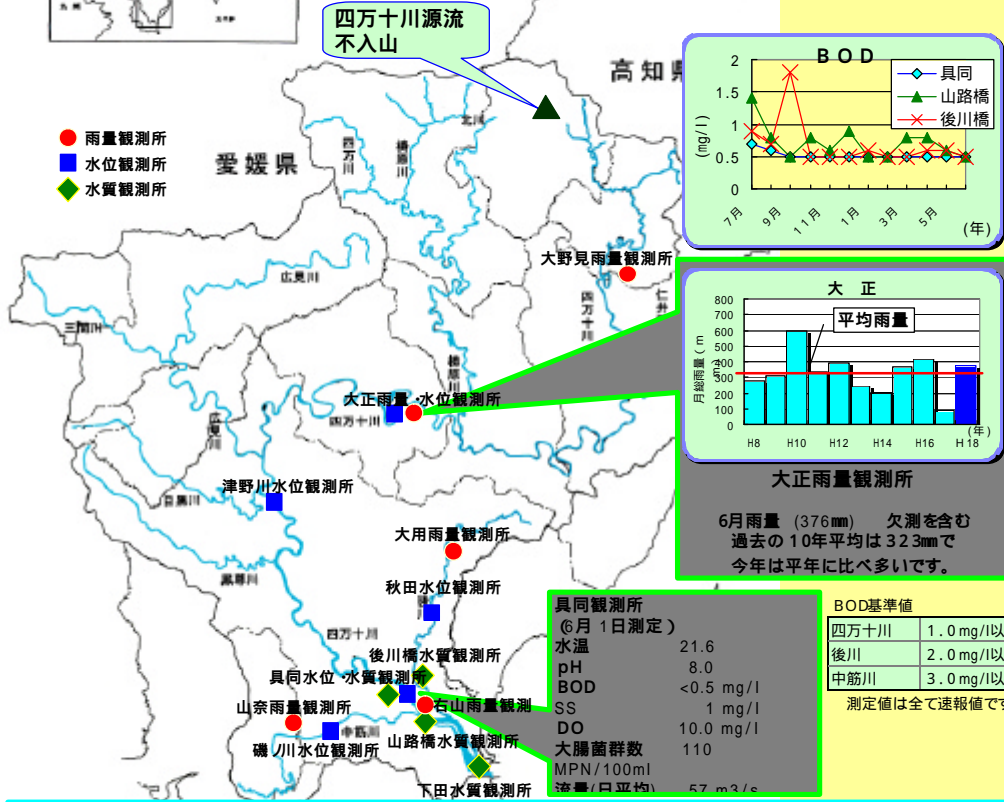
**会員募集中**

「四万十つの里づくりの会」では会員を募集しています。くわしくは下記のところまでお問い合わせをお願いします。

中村商工会議所  
TEL 0880-34-4333

四万十川に関するお気付きの点や、お問い合わせは  
中村河川国道事務所 調査第一課までお願いします。  
TEL 0880-34-7301  
四万十川ニュースは、中村河川国道事務所HPに掲載しています。  
<http://www.skr.mlit.go.jp/nakamura/index.html>

# 6月の水文・水質情報



6月雨量 (376mm) 欠測を含む  
過去の10年平均は323mmで  
今年は平年に比べ多いです。

**具同観測所**  
(6月1日測定)

水温	21.6
pH	8.0
BOD	<0.5 mg/l
SS	1 mg/l
DO	10.0 mg/l
大腸菌群数	110
MPN/100ml	
流量(口平均)	5.7 m <sup>3</sup> /s

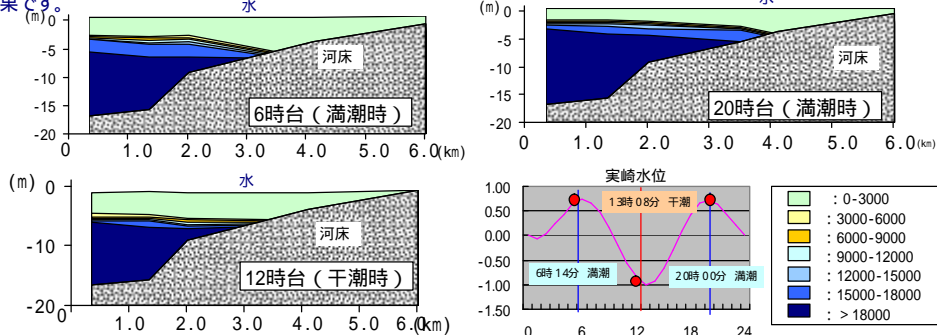
**BOD基準値**

四万十川	1.0 mg/l以下
後川	2.0 mg/l以下
中筋川	3.0 mg/l以下

測定値は全て速報値です。

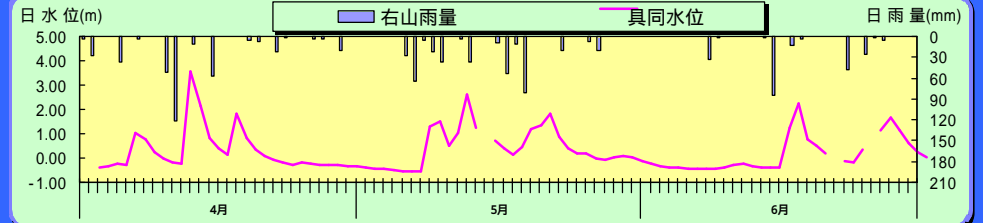
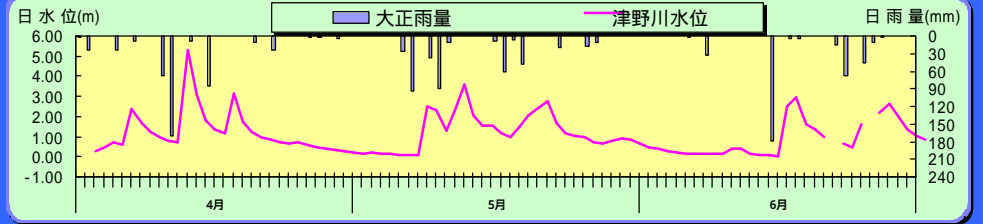
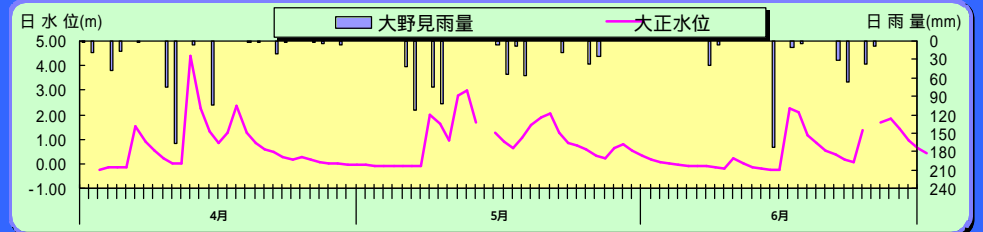
## トピックス

塩化物イオン濃度の調査 (四万十川河口部)  
中村河川国道では定期的に河口付近の塩化物イオン濃度調査を実施しています。下のグラフは6月27日に実施した調査の結果です。

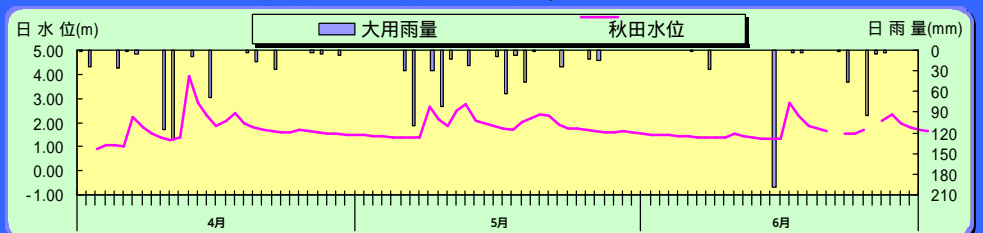


注)潮位時刻は土佐清水の時刻です

## 四万十川 雨量・水位データ



## 後川 雨量・水位データ



## 中筋川 雨量・水位データ

